

# 日本障害者歯科学会会員アンケート

## 「障害者歯科治療における他職種の帯同に関する調査」

### アンケート結果の報告

公益社団法人 日本障害者歯科学会  
理事長 野本たかと  
医療保険委員会委員長 加藤 篤

2月18日から3月28日までに会員対象に行いました「障害者歯科治療における他職種の帯同に関する調査」についてのアンケート結果をご報告いたします。本アンケートは日本障害者歯科学会倫理審査委員会の承認を得て実施されました（承認番号：25004）。

この度の結果をもとに令和8年度診療報酬改定に係る医療技術評価提案書を作成し提出させていただきました。

アンケートにご協力いただきました方々に深謝申し上げます。  
医療保険委員会では引き続き障害のある方への万全の医療提供が行えるよう環境改善を目指していく所存であります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### 障害者歯科治療における他職種の帯同に関する調査

Google Form を用いた WEB アンケート

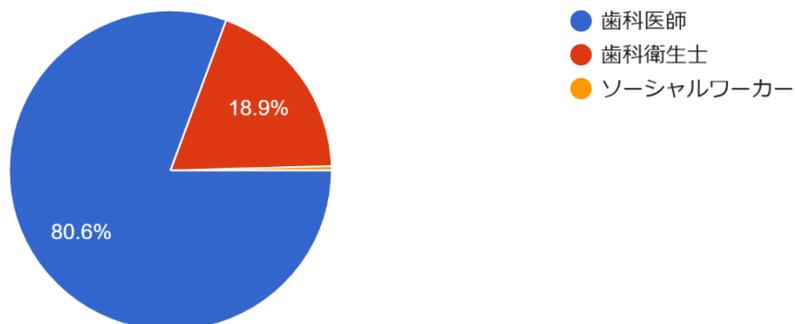
回答期間：2月18日～3月28日

回答数：227件

## 1. 基本情報に関する質問

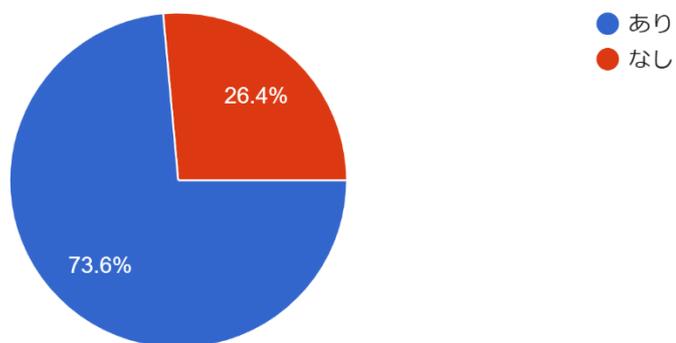
問1. あなたの職種を選んでください

227 件の回答



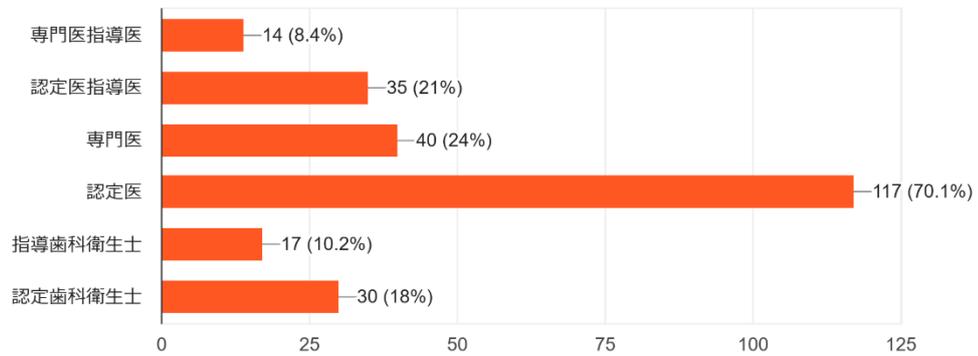
問2. 障害者歯科に関連する認定をお持ちですか？

227 件の回答



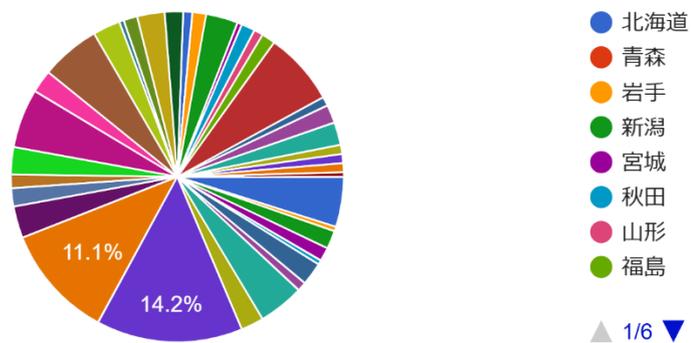
問3. 問2において「あり」と回答した方はどの認定資格をお持ちですか？（複数回答可）

167 件の回答



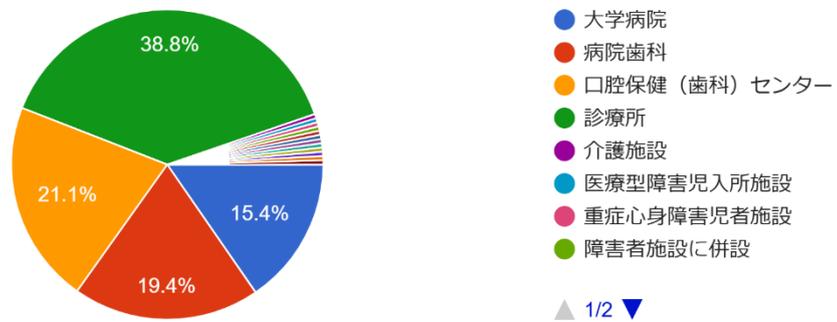
問4. 主に勤務されている都道府県について教えてください

225 件の回答



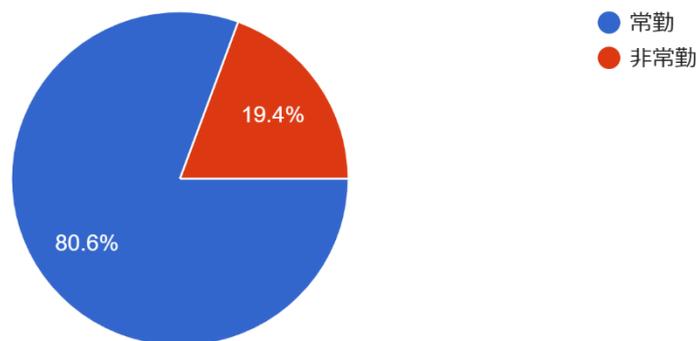
問5. あなたが障害児（者）に関わる主たる所属先について教えてください

227 件の回答



問6. あなたの所属先の勤務形態を教えてください

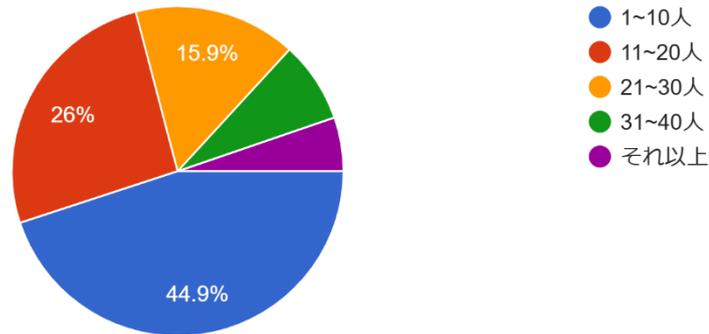
227 件の回答



## 2. 診療に関する質問

問1. あなたの勤務先で、一日平均何人の障害児（者）が来院されますか？

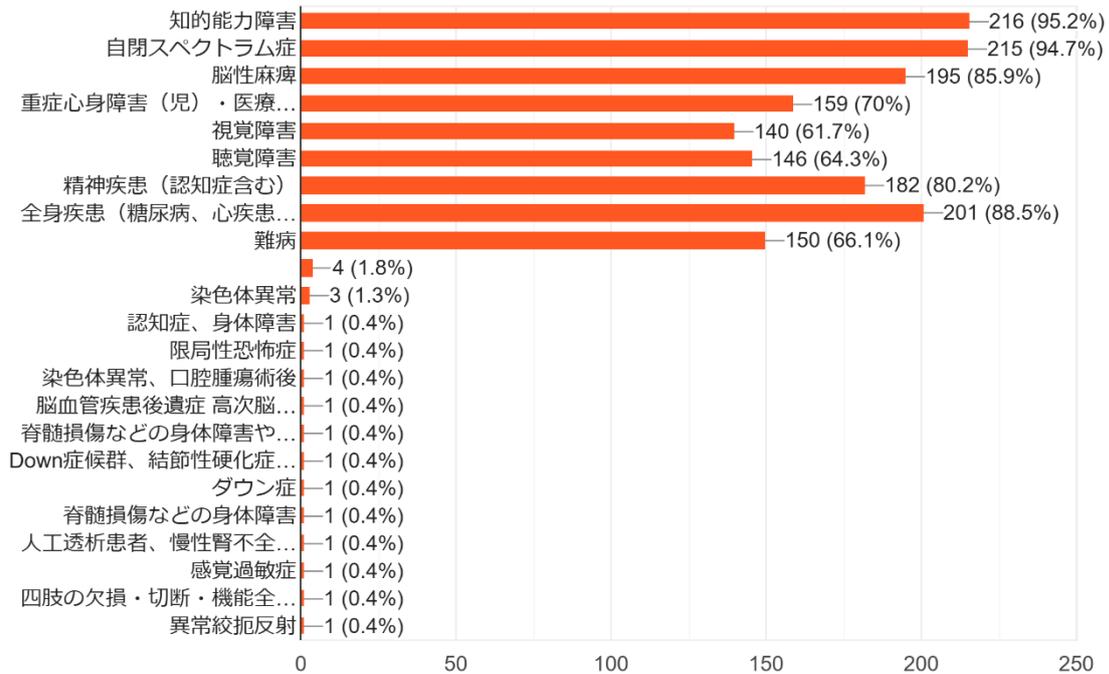
227件の回答



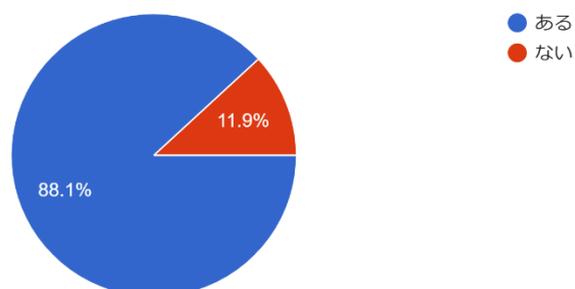
1日平均10名以上来院する歯科医院は全体の55.1%と半数以上であった。

問2. 実際にあなただの医院に来院される障害児（者）の種類について教えてください（複数回答可）

227件の回答

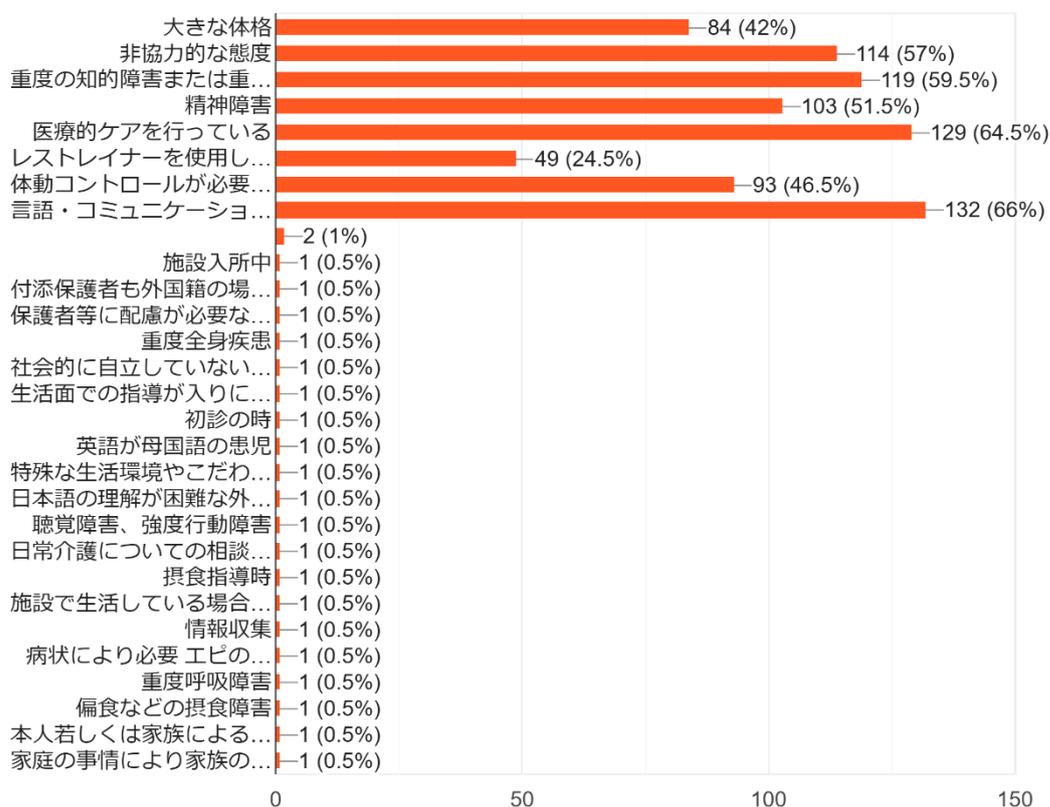


問3. 障害児(者)が受診する際に歯科以外の専門職の帯同が必要と感じたことはありますか？  
227件の回答



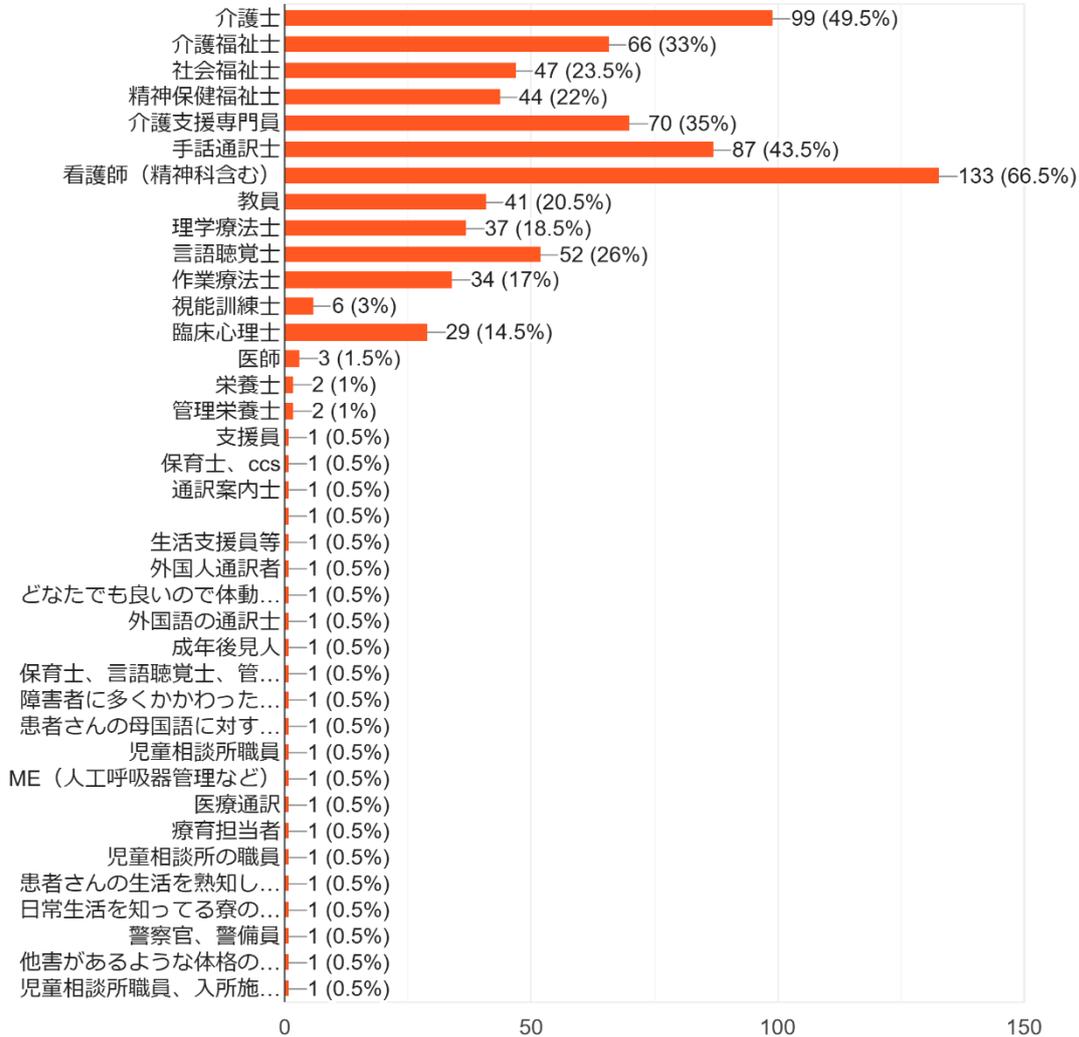
88.1%が歯科受診時に他の専門職の帯同が必要と感じている

問4. どのような要因があるときに専門職の帯同が必要だと思いますか？(複数回答可)  
200件の回答



帯同が必要と思った場面は「言語・コミュニケーション障害がある」が66%と最多、次いで「医療的ケアを行っている」64.5%、「重度知的障害・重度認知症」59.5%であった。

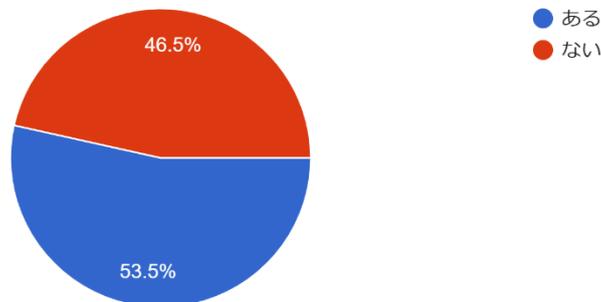
問5. 障害児（者）が受診する際に帯同が必要と感...た専門職について教えてください（複数回答可）  
200件の回答



帯同が必要と考える職種では「看護師（精神科含む）」が 66.5%で最多、次いで「介護士」49.5%、「手話通訳士」43.5%であった。

問 6. 障害児（者）が受診する際に実際に専門職の帯同を要請したことはありますか？

200 件の回答



問 7. 専門職の帯同を要請した際に良かったことはありますか？

（自由記載；原文のまま列挙）

手話通訳士の帯同により、コミュニケーションが円滑に進んだ

看護師の帯同により、治療の安全管理に繋がった。

介護支援専門員の帯同により、その方の既往歴や投薬内容など基本情報よりプラスの情報提供をうけることができた。普段担当している介護福祉士により認知機能低下したかたが安心した様子だった。

手話通訳

施設職員の帯同により、行動管理がスムーズになった

保育士や ccs の帯同により、患者の協力が得やすくなった。看護師の帯同は点滴がつながっている場合には必ずあり、歯科スタッフの安心に繋がっている。手話通訳士の帯同や外国語通訳士の帯同は、なくては診療ができません。

上手く出来た

普段の生活の場となっている施設の職員が帯同することで、普段の様子を把握できたり行動調整に関わってもらえることができトレーニングが進むこともある

看護師の帯同により普段の生活状況などが把握できた。

患者が慣れた看護師の帯同により、安全に治療の導入ができた。

広い範囲での情報共有ができて良かった。

チェアへの移乗を安全に行うことができた。

発達障害に伴う、個人の行動特性を把握する上で役立った。

看護師の帯同で安全に治療がおこなえた。介護支援員や手話通訳士のおかげでコミュニケーションが円滑に進んだ

普段の様子を理解している専門職から情報を取得できた

患者の特性を聞いて、円滑に進む  
看護師の帯同により患者が落ち着いて治療を受けさせてくれた。  
支援員の帯同により、治療の安全管理に繋がった。  
施設職員（生活支援員）に行動の状況や対応を聞き取り、歯科診療への誘導のサポートに役に立つことが多い。  
患者の背景が明確になった。  
専門領域の対応ができた。  
支援の実態を事前に把握することができた。 看護師や介護福祉士の帯同により、口腔衛生管理の留意点などを具体的に説明できた  
コミュニケーションが良好になった  
施設職員帯同により本人への対応や安全管理ができた  
手話通訳は毎回お願いしていて、非常に助かっている  
手話通訳士の帯同により、より正確な状況説明ができた。  
精神疾患患者に訪問看護師に帯同していただき、患者の精神的ケアを行なっていただいた。  
社会福祉士の帯同により、施設や他科との連携がスムーズだった。  
行動変容や徒手抑制の際に、いつも帯同していただけるので、治療の安全管理につながっている。  
看護師の帯同により、治療の安全管理に繋がった。入居施設などの担当者や介護士などの日常をよく知る方々の協力は大変ありがたい  
コミュニケーションがスムーズ  
看護師や介護士の帯同によって、治療の安全性や体感の安定に繋がった。精神介護福祉士の介入によって、精神疾患患者への対応に助かった。  
看護師の帯同で安全に治療が行えた  
看護師の帯同により安全管理が可能になった。保護者の安心感、信頼感に繋がった。  
体動が強くなった患者の診療室入室介助や診療中の体動コントロールに介護士が介入することで患者が落ち着き保護者の負担が少なくなった。  
介護支援士、日常生活での状態を聴取できた。  
入院先、入所先の看護師の帯同により診療が円滑に進んだ。  
介護士の帯同で日常のことや、理解しやすい声のかけ方を知ることができた。  
手話通訳士の帯同により円滑な診療ができた  
身体抑制時の関節、筋など四肢の可動域を知るのに役に立った。  
通訳が入ることにより、コミュニケーションが円滑に進み、また、治療に対する理解が深まった。  
呼吸や過緊張の状況が安全かどうか判断してもらえる・信頼できる職員が同行してもらえることにより、治療の不安が軽減されている  
専用のアドバイスが出来る  
ケアマネージャーの帯同により、家族と入所施設との関りと、口腔ケアへの協力を確保できた。  
聴覚言語障がい者センターの協力により、予約の連絡や、診療時のコミュニケーションがスムー

ズに出来ている。

言語聴覚士に同席してもらい、発達障害のあるお子様の発語や発音に対する困りごとに対応して頂きました。

発達障害児の歯科受診で、母親1人では外出困難な状況下で、支援員が帯同してくれたことで外来受診が可能となった。

看護師の帯同により鎮静下治療のときにモニターの監視と点滴の管理などで安全に管理できた。

特別支援学校の担任の先生の同行で言語によるコミュニケーションが円滑に進んだ

手話通訳士の帯同により、コミュニケーションが円滑に進んだ。精神的に不安定な保護者が児相職員とともに来院され、治療方針について実現可能な内容を相談しながら決めていた。

全身管理を行う上で重要、誤嚥性肺炎をはじめ終末像を理解しており口腔清掃指導を行う上で重要

手話通訳士の帯同でコミュニケーションが円滑になった。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士の帯同で摂食機能指導の幅が広がった。

日常生活についての行動などを知ることができた

手話通訳の帯同により、コミュニケーションが円滑に進んだ。

ケアマネの同席により、治療後の管理がしやすかった。

施設職員が帯同して頂けるだけで

本人が落ち着く傾向が多々ある。

保護者では甘えるし、暴力的になる。

各専門職の帯同により患者の身体状況や生活状況などについて詳しく聴取できた。

看護師の帯同により、サチュレーション使用しながらの治療で的確なアドバイスを頂いて、安全管理に繋がった。

患者の生活環境、対応への判断材料が得られる

当院は全員女性なので、介護士の補助により移動がスムーズだった

情報の共有ができた

例 教員、介護職員の帯同により日常の場の活動など情報が得られる。また摂食機能療法時に食形態に把握な指導が行える

初診時など、事前提供情報以外にも情報提供をしてもらえる

看護師の胎動により医療安全が保たれる

既往歴など記載のないものがあつた。馴染みの関係が構築されていた。

摂食指導時に栄養士の立場で指導、アドバイスができた。

療育担当者が、患児の毎日の様子をよく分かってくれているので、保護者も患児も担当者が同席することで安心感を感じているようだった。とくに治療終了後の患児のなだめ方が上手で、早く落ち着くと感じた。治療する側としても利点が多いので、次回もお願いした。

細かい情報収集が得られた。手話によりコミュニケーションが円滑化された。

体動コントロールの人手が増えて助かった。患児をみてもらっている間、保護者としっかり話が

できた。

生活を熟知している指導員、看護師から

エピの発作になっているとアドバイスして頂いた。

施設職員（職種はいろいろ）に日常の問診と、サポート方法を理解できた

全身麻酔の術前問診の際に看護師に帯同をしていただき、全身管理の面で詳細に問診などが行え安全な麻酔下治療へと繋がった。

看護師の帯同により、治療の安全管理に繋がった。

歯科以外の場面での生活全般の様子を理解する助けになる

言語聴覚士による発語指導

看護師がいるので、心強い。

介護士の帯同により、得意不得意な事が分かり、嫌な思いをせずコミュニケーションがとれた治療に対する職種の理解を得るため

強度行動障害で他害傾向のある患者を安全に治療することができた

偏食の指導の際、調理形態など具体的な指導ができた。看護師によるバイタルチェックで安全に治療が行えた。言語聴覚士と直接やりとりができて連携がスムーズに行えた（患者家族からの疑問や要望への対応について齟齬なくできた）

基礎疾患や服薬管理の共有がスムーズだった

介護施設職員（職種不明）帯同により円滑に処置できた。

手話通訳を通して良好なコミュニケーションをとれた。看護師は常時います。

保護者の保護責任能力に不安がある場合、児童相談所職員等も帯同してもらい、家庭の状況などを把握できたこと

看護師による安全管理

車いすからユニットへの移乗が、その方をよくわかっている介護士さんにお手伝いいただけるとありがたい。

支援学校の教師の帯同により給食支援がスムーズになった

強度行動障害患者への対応がスムーズになった

手話通訳により患者とのコミュニケーションが円滑になった

STの帯同により鼻呼吸をうながしうがいの具体的なトレーニングを指導できた

訪問診療の初診時に診療時や薬の注意などが理解できた。摂食嚥下訓練などの進展状況の説明ができた。

・多動で待てない方の際、通院や待機時間・会計待ちの時間・保護者への説明待ちの時間に助かった。

・保護者の負担軽減

問 8. 専門職の帯同を要請した際に困難さはありましたか？

(自由記載：原文のまま列挙)

特になし

日程調整

日程の調整が困難だった

なし

日程の調整が困難だった。

日程の調整

日程調整が困難だった。普段もとてもおいそがしい様子だった。勤務がまだ決まっていないなど介護福祉士さんの勤務がランダムだった。

人員の確保

看護師は常に人手不足であり、なるべく人手が多い時間に合わせるようにしている。

日程の調整が大変だった。

費用の請求や話題の狭さなど

日程の調整が困難。

日程調整が困難、在宅では費用算定できない

日程の調整が難しい

日程調整が困難であった。

日程の調整や人材不足が挙げられます。

常勤職員の中の専門職だったが、必要な Dr,DH,専門職種を同時間にアポイントを合わせるのが困難であったことがあった。

日程調整が困難だった

呼吸器に乗っている患者を治療する場合に、帯同していただく担当医との調整が難しいことがある

ない

日程や費用の調整の難しさを言われると絶対来てくださいと言いづらい。

日程と回数制限があり、予約時間の調整に手間取った。

連絡を取ることの困難さ。帯同の必要性を理解してもらう事の困難さ。

日程調整や同じ方の帯同要請に多少の困難があった

院内看護師であったので、特に困難はなかった

保護者が日程調整をするが調整が難しかった

これまでに困難に直面したことはないが、費用について気になる。

できないと言われたことがあった

日程調整等.

日常生活の言葉は通訳できるが、専門用語をかみ砕いた説明でも通訳しにくいことがあった。日

日程の調整が難しかった

ない・基本的に同行されるようになっているから

日程調整、報酬の問題

自院に在籍しており困難は感じられなかった。

日程調整、連絡先、費用

時間の調整

看護部、病院上層部の理解のなさ、歯科医師会の歯科衛生士と歯科医師だけで歯科医療は完了するという思想

日程調整が難しい時がある

日程の調整など

日程の調整が難しいことがある。そもそも手弁当になるので頼みづらい。

要請した経験なし

日程を多めに持ってお願いしたので大丈夫でした

日程調整が困難。費用の問題

基本的には無いが、先方も多忙につき日程調整が難しかった

日程調整。

日程の調整はやや困難

療育施設側も帯同が保険請求できるようになったとお聞きしています。当院では困難さはありませんでした。

日程調整、依頼経路など

日程の調整は難しいかもしれません。

日程調整が困難。費用設定がないので、依頼するのを躊躇する（診察に対する報酬が出せない）  
どこも人手不足なので、人員のやりくりが難しい。

とくになし

日程調整が困難で、摂食嚥下などの専門外来を受診できなかった

日程調整に時間がかかった

お互いに診療や訪問の時間を合わせる

## 障害者歯科治療における他職種の帯同に関する調査

### Google フォーム

#### 1. 基本情報に関する質問

問 1. あなたの職種を選んでください

歯科医師     歯科衛生士     その他...

問 2. 障害者歯科に関連する認定をお持ちですか？

あり     なし

問 3. 問 2 において「あり」と回答した方はどの認定資格をお持ちですか？（複数回答可）

専門医指導医     認定医指導医     専門医     認定医

指導歯科衛生士     認定歯科衛生士

問 4. 主に勤務されている都道府県について教えてください

問 5. あなたが障害児（者）に関わる主たる所属先について教えてください

大学病院     病院歯科     口腔保健（歯科）センター     診療所

その他

問 6. あなたの所属先の勤務形態を教えてください

常勤     非常勤

#### 2. 診療に関する質問

問 1. あなたの勤務先で、一日平均何人の障害児（者）が来院されますか？

1~10 人     11~20 人     21~30 人     31~40 人     それ以上

問 2. 実際にあなたの医院に来院される障害児（者）の種類について教えてください（複数回答可）

知的能力障害     自閉スペクトラム症     脳性麻痺

重症心身障害（児）・医療的ケア児（者）     視覚障害     聴覚障害

精神疾患（認知症含む）     全身疾患（糖尿病、心疾患、呼吸器疾患など）

難病     その他...

問3. 障害児（者）が受診する際に歯科以外の専門職の帯同が必要と感じたことはありますか？

ある ない

問4. どのような要因があるときに専門職の帯同が必要だと思いますか？（複数回答可）

大きな体格 非協力的な態度 重度の知的障害または重度認知症  
精神障害 医療的ケアを行っている レストレイナーを使用している  
体動コントロールが必要である 言語・コミュニケーション障害がある  
その他...

問5. 障害児（者）が受診する際に帯同が必要と感じた専門職について教えてください（複数回答可）

介護士 介護福祉士 社会福祉士 精神保健福祉士  
介護支援専門員 手話通訳士 看護師（精神科含む）  
教員 理学療法士 言語聴覚士 作業療法士  
視能訓練士 臨床心理士 その他...」

問6. 障害児（者）が受診する際に実際に専門職の帯同を要請したことはありますか？

ある ない

実際に他職種の帯同を要請した場合

問7. 専門職の帯同を要請した際に良かったことはありますか？

例) 看護師の帯同により、治療の安全管理に繋がった。手話通訳士の帯同により、コミュニケーションが円滑に進んだ。など

問8. 専門職の帯同を要請した際に困難さはありましたか？

例) 日程の調整が困難だった。費用の請求をされた。など

ご協力ありがとうございました。委員会活動の参考にさせていただきます。